



平成27年5月

第52号

荒川区立南千住第二中学校

(題字:校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



たくましい人へ

～ 教育とはなにか、学校の役割とはなにか ～

校長 齊藤 進

たくましい人、は本校の教育目標です。なぜ、「たくましいひと」ではなく「たくましい人」なのでしょう。

いきなり難しい話題になりますが、私は教員になる前から、教育とは「ひと」を「人」にすることであるという考えをもっていました。教育基本法には人格の完成とあるように、教育とは一人前の人間に育てる営みとしてとらえることができると思います。とすると、教育目標の「たくましい人」は一人前の人間でなくてはなりません。別の言い方をすると「たくましい人」とは前月号の学校だよりでお伝えした大きな子供から小さな大人になることです。すなわち「たくましいひと」は大きな子どもで、「たくましい人」は小さな大人ともいえるでしょう。



新年度になって一段と成長した生徒の姿をみることができます。2年生下田移動教室で進んで昼食の入った段ボール箱を全クラスのバスに運んだ生徒、到着したバスのトランクから生徒の荷物を次々に降ろす生徒、「荷物持ちましょうか」と声を掛けてくれる生徒。また、率先してネパール募金を提案した3年生JRC委員長。3年生学年だよりで掲載された3年男子生徒の自覚と決意の作文。防災への意識と地域貢献への意識が向上し、199名も集まったレスキュー部員。その特徴的な活動である絆ネットワークで高齢者宅を訪問し交流を深める生徒。進んで地域の雪かきを行ったレスキュー部員、など本校生徒は「たくましい人」へ成長しています。

さて、学校の役割とはなんでしょう。私は学校の役割とは生徒を幸せにすることであると考えます。生徒の幸せとは、愛され、褒められ、人の役に立ち、必要とされることです。

日々の学校生活で学ぶことはもちろん、本校がJRC活動として取り組んでいる様々なボランティア活動などを通して人間性を磨き、人のため、地域社会のために貢献していくことで生徒は幸福を実感できると思います。これからも、生徒一人ひとりが学校生活のなかで南二中に通うことができよかったですと幸福感をもてる学校づくりをさらに進めていきたいと思ひます。

5月9日(土)に地域清掃を行いました。地域の方からお褒めの電話をいただきました。お手伝いいただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

地域清掃

5月9日(土)の授業公開日午後、恒例の地域清掃が行われました。地域清掃は、南千住二中が全校加盟しているJRC活動の一環として毎年行っています。全校生徒が地域に出てゴミを拾い集めます。

給食終了後、着替えをして全校生徒が校庭に集合しました。今回も、JRC委員会が中心となって準備をし、出発式では委員長(3-2)が、普段お世話になっている地域をきれいにしましょうと訴えました。

出発式の後、持参したビニール袋と軍手、JRC委員から手渡された鉄バサミを手に地域に繰り出しました。学年ごとにエリアを決め、3年生は南千住6丁目、2年生が5丁目、そして1年生は7丁目を担当しました。

道端や植え込みの中に落ちていたゴミを拾いました。タバコの吸い殻が多いのには驚きました。初めての1年生も楽しみながら元気にゴミ拾いをしました。地域の方々にも「ご苦労様」「ありがとう」などと声をかけて頂く場面もありました。回を重ねるごとに保護者の参加者もずいぶん増えました。ご協力ありがとうございました。

きれいに見える南千住の街も、全校で集めたゴミの量は、今回も大きな90%のゴミ袋に10袋近くになりました。

自分たちが生活する地域がきれいになり、また、地域に貢献できた満足感を感じることができました。

終わった後は清々しさを感じることができました。



全校で約10袋



清掃の準備



清掃の準備



植え込みの中へ



JRC委員が分別

JRC委員会が立ち上がる

ネパール大地震地に募金

前日、2回にわたりネパールで大地震が発生し、甚大な被害が報告されました。そこで、南千住二中学生会JRC委員会がいち早く立ち上がりました。委員長(3-2)らの発案で、募金活動を実施しました。全校生徒や教職員に協力を訴え、5月8日からの5日間ほどで、善意の13,291円が集まりました。JRC委員会の三役は早速、ゆうちょ銀行に募金を持参し、日本赤十字社を通しネパールの被災地に寄付されました。皆さんの協力、ありがとうございました。



募金を届けたJRC委員会三役

離任式

4月27日(火)、離任式が行われました。昨年度まで南千住二中でお世話になり、この4月に他の学校などに移られた先生、主事さん方をお招きして感謝の気持ちを伝えました。この日お見え頂いた先生方は、事務主事さん、図書館指導員の先生、体育の講師の先生の3人でした。

先生方が吹奏楽部の演奏にあわせ入場し、式が始まりました。校長先生からの紹介に続き、各先生方よりお話を頂きました。その後、代表生徒から感謝の言葉と花束が贈られました。

3人の先生方にはそれぞれ代表生徒2名がお礼の言葉と花束贈りました。

3年間お世話になった英語先生をはじめ他の先生は、ご都合でお見えになれませんでした。代表生徒が書いた感謝の言葉はしっかり届けられました。先生方、お世話になりました。

お世話になった先生に感謝の言葉



吹奏楽部の演奏で入退場



レスキュー部発足

5月1日(金)、例年より早く、今年度のレスキュー部発足の会が行われました。レスキュー部への入部者は199名。実に全校の約2/3の生徒がレスキュー部員ということになります。南千住二中生の防災に対する意識の高さが伺えます。この会の直前は、ちょうど今年度2回目の避難訓練でした。2,3年生は私語もまったくなく、素晴らしい訓練への取り組み姿勢でした。1年生はまだ緊張感も足りない面があり、学年の先生に注意を受けてしまいました。しかし、今後南千住二中で生活していくことで、より防災意識は高まっていきます。この発足会で、部長は3年2組女子、副部長はやはり3年2組の女子部員が務めることに決まりました。今年度からは区内全公立中学校に“防災部”が設置されることが決まりました。今年度からはレスキュー部に特に力を入れて活動する部員、スーパーレスキュー部員も誕生しました。

南千住二中のレスキュー部は、その先駆けとして活動が期待されています。



真剣に顧問の先生の話聞くレスキュー部員

レスキュー部の主な活動

- 絆ネットワーク 学校だよりや行事のお知らせを地域の高齢者宅にお届けし、顔見知りになります。
- 地域の防災訓練に参加・校内避難訓練リーダー 消防署、荒川区や南千住地域の防災訓練に参加します。
- 地域イベントのボランティア 地域の様々なイベントにボランティアとしてお手伝いをします。
- 救急救命講習会 講習会に参加し、救急救命の技術を習得します。
- 夏季防災(宿泊)訓練 南千住二中が避難所になったことを想定して避難所開設などの訓練を行います。

川の手荒川まつり

4月29日(水・祝)に「川の手荒川まつり」が行われました。このイベントは、ふるさと荒川の郷土意識の高揚、豊かな地域社会づくり、そして観光振興による賑わいの創出などを目的としています。今年は荒川一中からスポーツセンターまでのパレードが行われました。そのパレードに南千住二中吹奏楽部が依頼を受け、参加しました。南千住地区で行われる年は毎年参加しています。この日も千住間道の短い区間でしたが、立派な演奏を披露し、イベントを盛り上げるのに一役買いました。吹奏楽部の皆さんありがとうございました。

パレードする吹奏楽部



1年生の新人部員もパレードに参加

2年生

オーケストラ鑑賞教室

連休明けの5月7日(木)、荒川区立中学校オーケストラ鑑賞教室が上野の東京文化会館で行われ、南千住二中からは2年生が参加しました。

この日のオーケストラ演奏は東京都交響楽団で、歌劇「カルメン」や「ハンガリー舞曲」、ドヴォルザークの「新世界より」などを演奏してくれました。また、「スター・ウォーズ」のテーマ曲などもとび出し、その迫力に心が弾みました。

南千住二中2年生の鑑賞態度もよく、会場までの道のりや電車内などもしっかりした態度でした。本物のオーケストラの演奏を本格的なホールで鑑賞できる、大変貴重な機会でした。



1年生

地域学習始まる

5月に入り、1年生は本格的に地域学習が始まりました。8日(金)の6校時、総合的な学習の時間には、南千住二中の玄関前にある火力発電所の史跡を示す看板や1階ホールにある火力発電所や東京スカイツリーの模型、片目の緋鯉や千住大橋の大亀の御輿の説明を受けました。また、翌日9日(土)の授業公開日には「地図で探そう」を実施。南千住の白地図上に史跡や文化財を示すシールを貼り付けました。保護者の方も一緒に考えてくださり、楽しい学習ができました。



模型の説明を受ける



保護者の方も一緒に地図に向かう

2年生

下田移動教室

5月13日(水)から15日(金)までの2泊3日、2年生は下田移動教室に出かけました。出発の朝は台風から変わった強い低

気圧の接近が心配されましたが、未明に低気圧も抜け、出発の頃には青空が広がりました。出発式では、実行委員長(1組女子)が、「3日間、責任ある行動をし、交友関係をさらに深めましょう」とあいさつしました。バスは予定通り出発し、順調に下田の学園に到着しました。

1日目はオリエンテーリングでした。学園での昼食後、班ごとに寝姿山山頂を目指しました。途中で設置された南千住二中オリジナルポストの課題を実行しながらの楽しいハイキングで、どの班もあっという間に山頂に到着しました。山頂でのソフトクリームは格別でした。下りはロープウェイで絶景を楽しみました。夕食後には班で協力して思い出のスケッチを完成させました。

2日目午前中は小室山公園を班ごとに散策しました。昼食後はバスで移動し、いよいよ八幡野窯での陶芸体験です。思い思いの作品を“手捻り”で作りしました。作品はしっかり焼かれ、後日学校に届きます。霜月祭(本校文化祭)で展示予定です。

夜は待ちに待ったレク大会「きもだめし」でした。学園を真っ暗にし、食堂からホール、渡り廊下、空いている1階の部屋、そして……204号室へと向かいました。恐怖と楽しさで大盛り上がりレクになりました。果たして204号室の謎とは…!? レクさんご苦労様でした。

最終日はパノラマパークに行く予定を変更し、大室山に行くことになりました。これは、往路でバス酔いがひどい生徒が多かったため、バスが比較的山道の少ないコースを通る場所を選択した配慮によるものです。天気も大変良く、360°の大パノラマのもと、最後の昼食をいただきました。

帰りもバスは順調。16時過ぎに学校に到着し、解散式が行われました。実行委員(2組女子)が「楽しく3日間をすごせたか」と呼びかけ、3日間の成果を改めて確認しました。

楽しく素晴らしい思い出ができた下田移動教室でした。



寝姿山山頂



手捻りの陶芸体験



恐怖のきもだめし



大室山の絶景



学園前で全員で記念写真

部活動の活躍



《バスケットボール部》

女子 第5ブロック春季大会出場 **ベスト8**
男子 第5ブロック春季大会出場

《バレーボール部》

女子 荒川区春季大会 **準優勝**
第5ブロック春季大会出場 **予選リーグ2位(ベスト16)**
第1回あらぶんちょカップ **準優勝** (決勝の様子は5/18ケ-ブルTVで放映されました)

バレーボール部 区春季大会で



《ソフトテニス部》

女子 荒川区春季大会 **個人戦 ベスト8** 第5ブロック春季大会出場
3年生ペア 2組
個人戦 ベスト12 第5ブロック春季大会出場
3年生ペア 1組
団体戦 第3位 第5ブロック春季大会出場



ソフトテニス部 区春季大会で

男子 荒川区春季大会 **個人戦・団体戦** 出場

《サッカー部》 荒川区春季大会出場

南千住マイスターのコーナー

この繁栄した川越夜船でしたが水深が浅すぎて蒸気船の導入は出来ず、輸送力の大きな鉄道が開通して衰退していきました。さらに荒川の大改修によって荒川放水路が通水し、昭和6年に通船が禁止となりました。松尾芭蕉が深川から千住で上陸したり、將軍様は鷹狩に日本橋川を下って隅田川を上り南千住の砂尾にあった専用棧橋から上がった等のことは千住が水運の一大拠点であったことをもがたっています。

江戸時代、千住は荒川水運の中心の湊(みなと)でした。関東西部の物産は、多くが河川水運によって江戸へ運ばれていました。その中で川越夜船がよく知られていました。この名前は川越城下を夕方出て一晩かかって翌日早朝に千住へ着いたことによります。またその船頭小唄が千住宿の花街で広められ、有名にもなりました。江戸と川越を結ぶ水運として、川は傾斜を緩やかに、流れは遅く、川幅は広めに蛇行を多く改修され、九十九曲がり三十里といわれました。船問屋は主に川越にあり、途中各地に河岸がありました。入間、多摩さらには山梨などの物産が、各地の河岸で積み込まれ、江戸へ送られたといえます。

南千住の交通と産業 その2 『山越夜船と千住宿』



真室の千住大橋の船にも使われた川越夜船